

訪問購入（貴金属）

登場人物 良子（主婦） 悪田（悪質業者）
横 ハマ子（消費生活センターの相談員）

ナレーター 良子さんは80歳。夫も先立ちひとり暮らしです。
ある日の昼下がり、電話がかかってきました。
♪プルプルプル♪ ♪プルプルプル♪

良子 はい。もしもし。

悪田 こちら、ウソツキ買取センターです。お忙しい時間にすみません。当社は不用品の買取専門業者です。お家で眠っている不用品はありませんか？

良子 古着ならありますけど、そんなのは買い取ってもらえないでしょ？

悪田 いえいえ。古着でも履かなくなった靴でも大丈夫ですよ。世の中には少くらい古くても、安いものが欲しいと思っている方はいるんです。ご都合のいい日に伺いますが、いつがよろしいですか？

良子 じゃあ、明日の2時にお願いします。

ナレーター ものを捨てられない良子さんの家には、古着や履き古した靴がいっぱい。「これを買って取ってもらえるならいい機会だわ」と、喜んでいました。
そして次の日。
♪ピンポン♪

良子 はーい♪

悪田 こんにちは。私ウソツキ買取センターの悪田と申します。お約束しておりました不用品の買取に伺いました。

良子 いらっしゃい。さあ、入って、入って。

ナレーター 良子さんは玄関脇に用意していた不用品がいっぱい入ったダンボールを見せま

した。

悪田 う〜ん。ちょっとこれは難しいですね。貴金属なんかないですか？

良子 あるけど。それよりこの古着。買ってくれるんでしょ？

悪田 いやいや、古着はいいから、貴金属を見せてください。

良子 貴金属はいいですよ。古着を買い取ってください。

ナレーター 良子さんは断り続けましたが、悪田も引き下がりません。だんだん外は薄暗くなってきました。

良子 仕方ないわね。見せるだけよ。

悪田 早く見せてくれたらよかったのに。

良子 はい。これだけだけど。

悪田 指輪もはめてるじゃないですか。それも見せて。

良子 ええ？

悪田 そうだね。全部合わせて 3000 円です。

良子 誰も売るなんて言っていませんよ。

悪田 いいのいいの、気にしないで。

ナレーター 悪田は手際よく書類に記入を済ませ、3000 円と契約書の控えを良子さんに手渡しました。

悪田 はい、それでは失礼します。

ナレーター 良子さんが呆気にとられている間に、悪田は貴金属だけを持って帰っていきました。

良子 どうしよう……。あの指輪は亡くなったお父さんからのプレゼントだったのに。どうしたらいいんだろう。

ナレーター そのとき、良子さんの目に電話に貼っていたお断りシールが目に飛び込んできました。

良子 そうだわ！ こういうときこそ消費生活センターね。電話してみよう。
♪プルプルプル♪ ♪プルプルプル♪

横ハマ子 はい。横浜市消費生活総合センターの横ハマ子です。どうしましたか？

良子 実は売るつもりがなかった貴金属を・・・(かくかくしかじか)・・・

横ハマ子 訪問購入で、貴金属を買い取られてしまったんですね。契約してから8日以内なのでクーリング・オフできます。すぐに手続きをしましょうね。ハガキを用意してください。特定記録郵便で出しましょう。

ナレーター 契約から8日以内だったので無事にクーリング・オフできました。
ただし、買い取ったその日に転売されたり、貴金属であれば溶かされて、もとどおりに返してもらえないこともあります。不用品を買い取るとかかってくる電話にはご注意ください！